

平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況(非連結)

平成19年8月10日

上場会社名 トーイン株式会社

上場取引所 JQ

コード番号 7923

URL <http://www.toin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山科 統

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門長 (氏名) 埴淵 正伯 TEL (04) 7131 - 2111

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第1四半期の業績(平成19年4月1日~平成19年6月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
20年3月期第1四半期	2,758 (3.6)	78 ()	81 ()	73 ()
19年3月期第1四半期	2,662 (4.6)	56 ()	56 ()	51 ()
19年3月期	10,742	77	38	56

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	13 20	13 14
19年3月期第1四半期	10 24	10 17

(注) 1. 営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益は平成19年3月期から開示を始めたため、平成19年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 1株当たり四半期(当期)純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益は平成20年3月期から開示を始めたため、平成19年3月期第1四半期は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	15,874	9,161	57.7	1,643 79
19年3月期第1四半期	15,788	9,284	58.8	1,666 93

(注) 平成20年3月期から開示を始めたため、平成19年3月期第1四半期は記載しておりません。

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	283	31	176	1,937
19年3月期第1四半期	692	1,710	162	1,861

(注) 平成20年3月期から開示を始めたため、平成19年3月期第1四半期は記載しておりません。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金
(基準日)	第1四半期
	円 銭
19年3月期第1四半期	
20年3月期第1四半期	

3.平成20年3月期の業績予想(平成19年4月1日~平成20年3月31日)

業績予想の見直しは行なっておりません。

4.その他

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3.その他 をご覧ください。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期につきましては、包装資材事業は企画提案型の営業活動の展開により売上が堅調に推移したものの、利益率の低い製品群の売上が増加したこと、原材料等の値上げに対する適正価格への改定が不十分であったことなどにより、売上原価率が上昇いたしました。精密塗工事業は新規客先及び新規分野の需要先の開拓により売上が徐々に回復してきたものの、有償支給材の取引比率が増加したことにより、十分な利益率を維持できませんでした。その他事業は販促品の売上が減少したことなどにより、売上・利益ともに低調に推移いたしました。

この結果、当第 1 四半期の業績は、売上高 2,758 百万円 (前年同期比 3.6%増)、営業利益△78 百万円 (前年同期比 134 百万円減)、経常利益△81 百万円 (前年同期比 137 百万円減)、四半期純利益△73 百万円 (前年同期比 124 百万円減) となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第 1 四半期の資産につきましては、前事業年度末に比べ 86 百万円増加し、15,874 百万円となりました。これは主に、たな卸資産が 79 百万円減少しましたが、現金及び預金が 75 百万円及び固定資産が 74 百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前事業年度末に比べ 208 百万円増加し、6,712 百万円となりました。これは主に、借入金が 117 百万円減少しましたが、未払費用及び設備支払手形等の増加により流動資産のその他が 360 百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前事業年度末に比べ 122 百万円減少し、9,161 百万円となりました。これは主に、剰余金の配当及び四半期純損失等により利益剰余金が 157 百万円減少したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第 1 四半期における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ 75 百万円増加し、1,937 百万円となりました。

当第 1 四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第 1 四半期における営業活動によるキャッシュ・フローは、283 百万円の収入となりました。これは主に、減価償却費 201 百万円及びその他負債の増加 168 百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第 1 四半期における投資活動によるキャッシュ・フローは、31 百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産取得による支出 22 百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第 1 四半期における財務活動によるキャッシュ・フローは、176 百万円の支出となりました。これは主に、長期借入金返済による支出 117 百万円及び配当金支払 55 百万円等によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、確定次第、適時適切に開示いたします。

4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

財務諸表の作成に際しては、中間財務諸表規則に準拠しておりますが、以下の事項については簡便な方法を採用しております。

- ・ たな卸資産について、実地たな卸を省略しております。
- ・ その他影響額が僅少なものについては、一部簡便な手続きを採用しております。

(2) 最近事業年度からの会計処理方法の変更

該当事項はありません。

4.(要約)四半期財務諸表

(1)(要約)四半期貸借対照表

(単位:千円未満切捨て、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考)前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産					
1.現金及び預金		1,437,041			1,361,525
2.受取手形及び売掛金		2,559,542			2,578,858
3.たな卸資産		1,249,820			1,329,795
4.その他		1,080,312			1,044,830
流動資産合計		6,326,717			6,315,010
固定資産					
1.有形固定資産		7,393,682			7,346,376
2.無形固定資産		39,739			39,190
3.投資その他の資産		2,114,361			2,087,583
固定資産合計		9,547,784			9,473,149
資産合計		15,874,501			15,788,159
(負債の部)					
流動負債					
1.支払手形及び買掛金		2,513,470			2,526,102
2.短期借入金		350,000			350,000
3.1年内返済予定 長期借入金		496,000			489,000
4.その他		956,304			596,051
流動負債合計		4,315,774			3,961,153
固定負債					
1.長期借入金		1,183,900			1,307,900
2.その他		1,212,883			1,234,871
固定負債合計		2,396,783			2,542,771
負債合計		6,712,558			6,503,925
(純資産の部)					
株主資本					
1.資本金		2,244,500			2,244,500
2.資本剰余金		2,901,821			2,901,800
3.利益剰余金		4,081,762			4,238,859
4.自己株式		456,036			457,238
株主資本合計		8,772,046			8,927,921
評価・換算差額等					
1.その他有価証券 評価差額金		395,083			365,843
2.繰延ヘッジ損益		5,187			9,530
評価・換算差額等合計		399,896			356,313
純資産合計		9,161,943			9,284,234
負債純資産合計		15,874,501			15,788,159

(注) 平成20年3月期から四半期財務諸表を作成しているため、前年同四半期及び増減は記載しておりません。

(2)(要約)四半期損益計算書

(単位:千円未満切捨て、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	増 減		(参考)前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高		2,758,749			10,742,656
売上原価		2,479,602			9,271,693
売上総利益		279,147			1,470,962
販売費及び一般管理費		357,599			1,393,329
営業利益		78,452			77,633
営業外収益		15,668			30,487
営業外費用		18,388			69,646
経常利益		81,171			38,474
特別利益		169			3,855
特別損失		219			23,482
税金等調整前四半期 (当期)純利益		81,221			18,847
税金費用		7,669			38,105
四半期(当期)純利益		73,551			56,952

(注) 平成20年3月期から四半期財務諸表を作成しているため、前年同四半期及び増減は記載しておりません。

(3)(要約)四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円未満切捨て)

区 分	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	(参考)前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期(当期)純利益		81,221	18,847
減価償却費		201,751	946,674
その他負債の増減額		168,758	
その他		6,039	214,090
小 計		295,328	751,430
法人税等の支払額		7,065	8,303
その他		4,519	50,651
営業活動によるキャッシュ・フロー		283,743	692,475
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出		22,071	1,645,885
その他		9,928	64,741
投資活動によるキャッシュ・フロー		31,999	1,710,627
財務活動によるキャッシュ・フロー			
長期借入金の増減額		117,000	257,800
配当金の支払額		55,776	82,976
その他		3,456	12,573
財務活動によるキャッシュ・フロー		176,232	162,250
現金及び現金同等物に係る換算差額		5	
現金及び現金同等物の増減額		75,516	855,900
現金及び現金同等物の期首残高		1,861,525	2,717,426
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高		1,937,041	1,861,525

(注) 平成20年3月期から四半期財務諸表を作成しているため、前年同四半期は記載しておりません。

(4) 販売の状況
販売実績

(単位:千円未満切捨て)

区 分	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)		当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)		比較増減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	前年同期比
		%		%		%
包 装 資 材	2,246,220	84.4	2,257,653	81.8	11,432	0.5
精 密 塗 工	235,164	8.8	350,375	12.7	115,210	49.0
そ の 他	180,949	6.8	150,721	5.5	30,227	16.7
合 計	2,662,334	100.0	2,758,749	100.0	96,415	3.6

<事業区分の変更>

事業区分について、平成19年3月期までは「包装資材事業」「精密機器関連事業」の2区分で表示しておりましたが、事業内容が多様化するとともに精密塗工事業の重要性が増してきたことに伴い、事業区分別情報の有用性を高めるため、平成20年3月期から「包装資材事業」「精密塗工事業」「その他事業」の3区分に変更いたしました。

なお、上記販売実績の前年同四半期は、当該変更後の区分によるものであります。